

日本学会議

公開シンポジウム

ヒト受精卵が配偶子ゲノム編集を考える

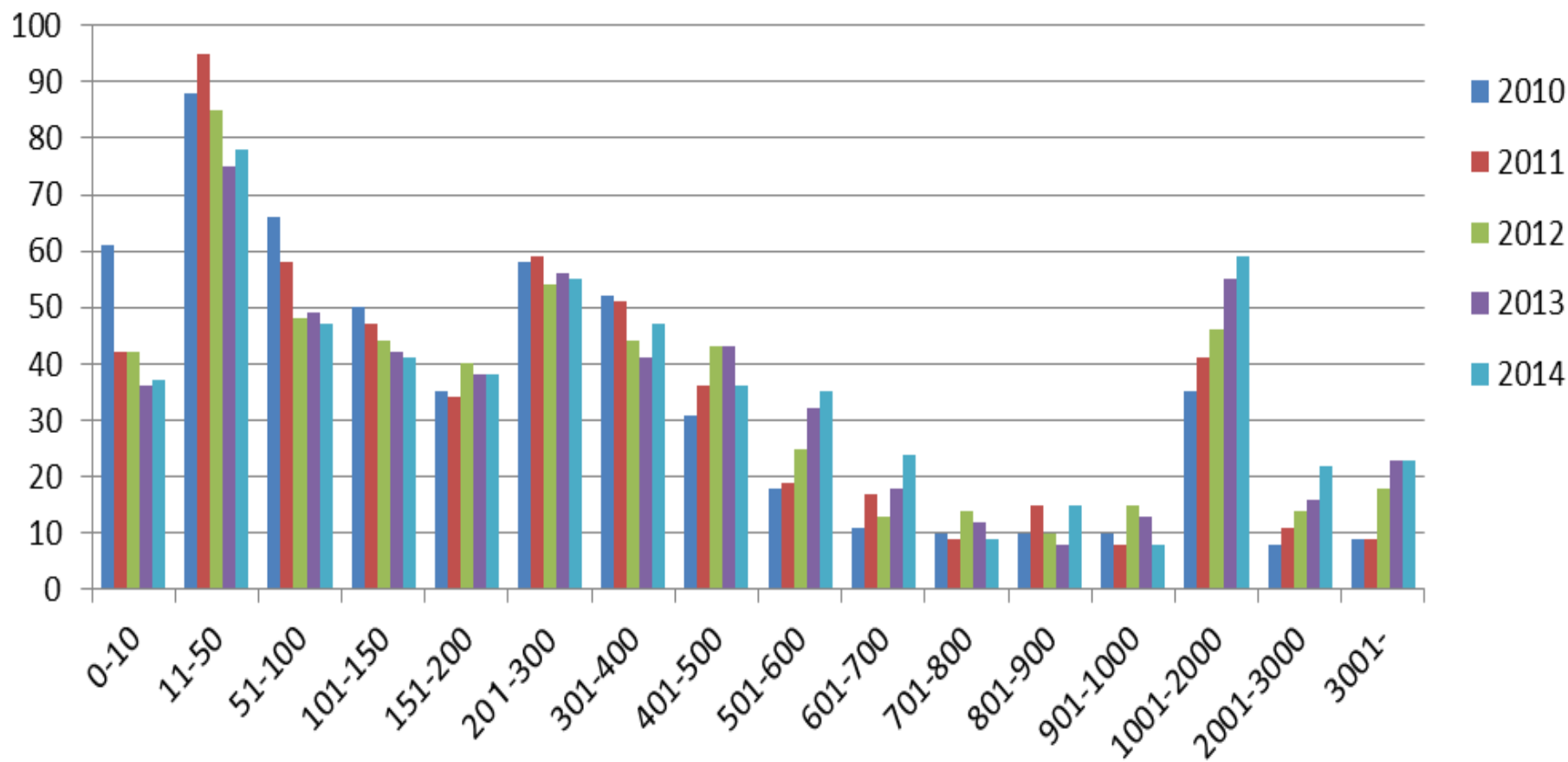
平成29年4月30日

日本学会議講堂

日本の生殖補助医療の現状

国立成育医療研究センター
周産期・母性診療センター
齊藤 英和

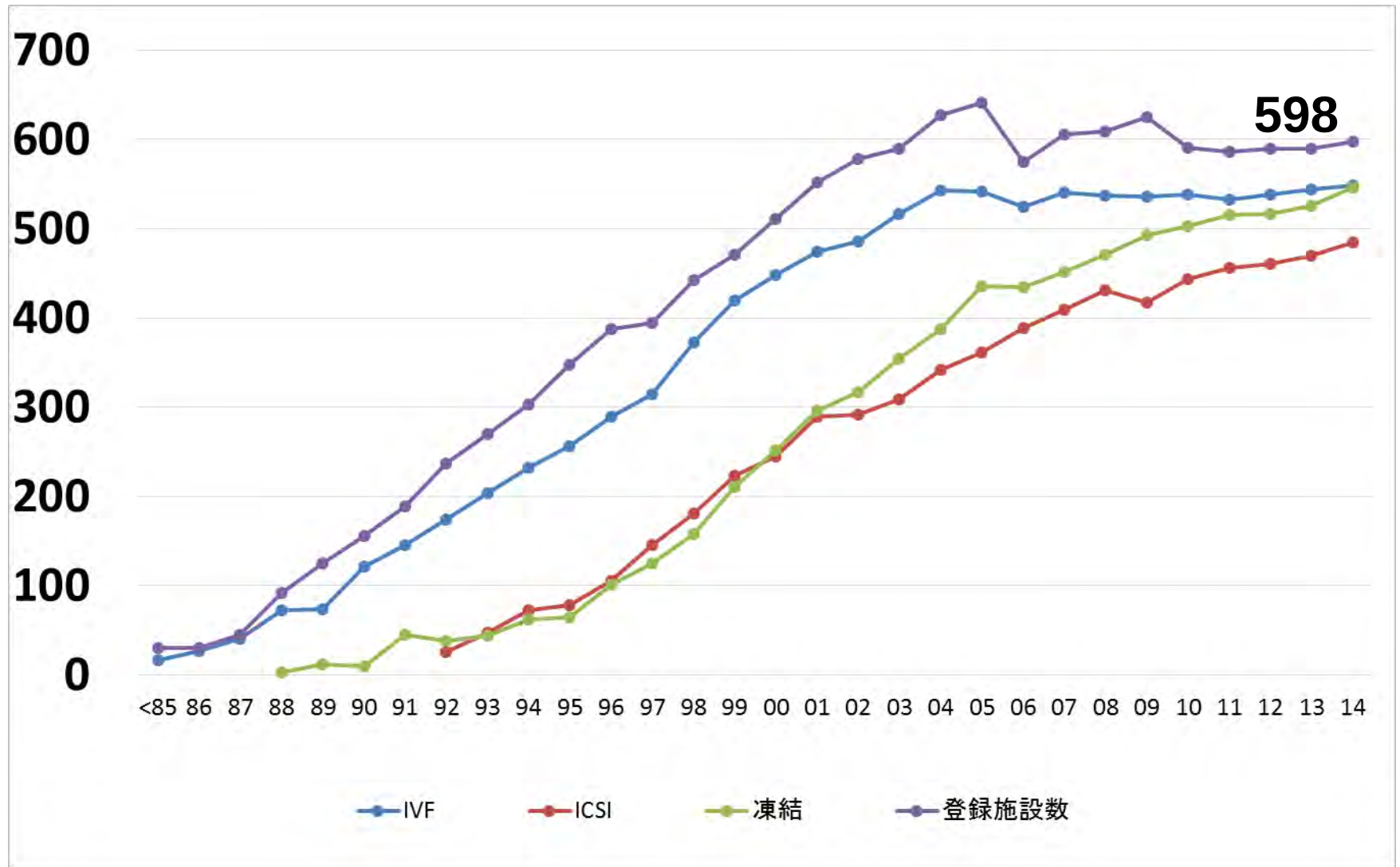
年間ART治療総数別施設数(2010-2014)



年間治療件数

(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

各治療実施施設数

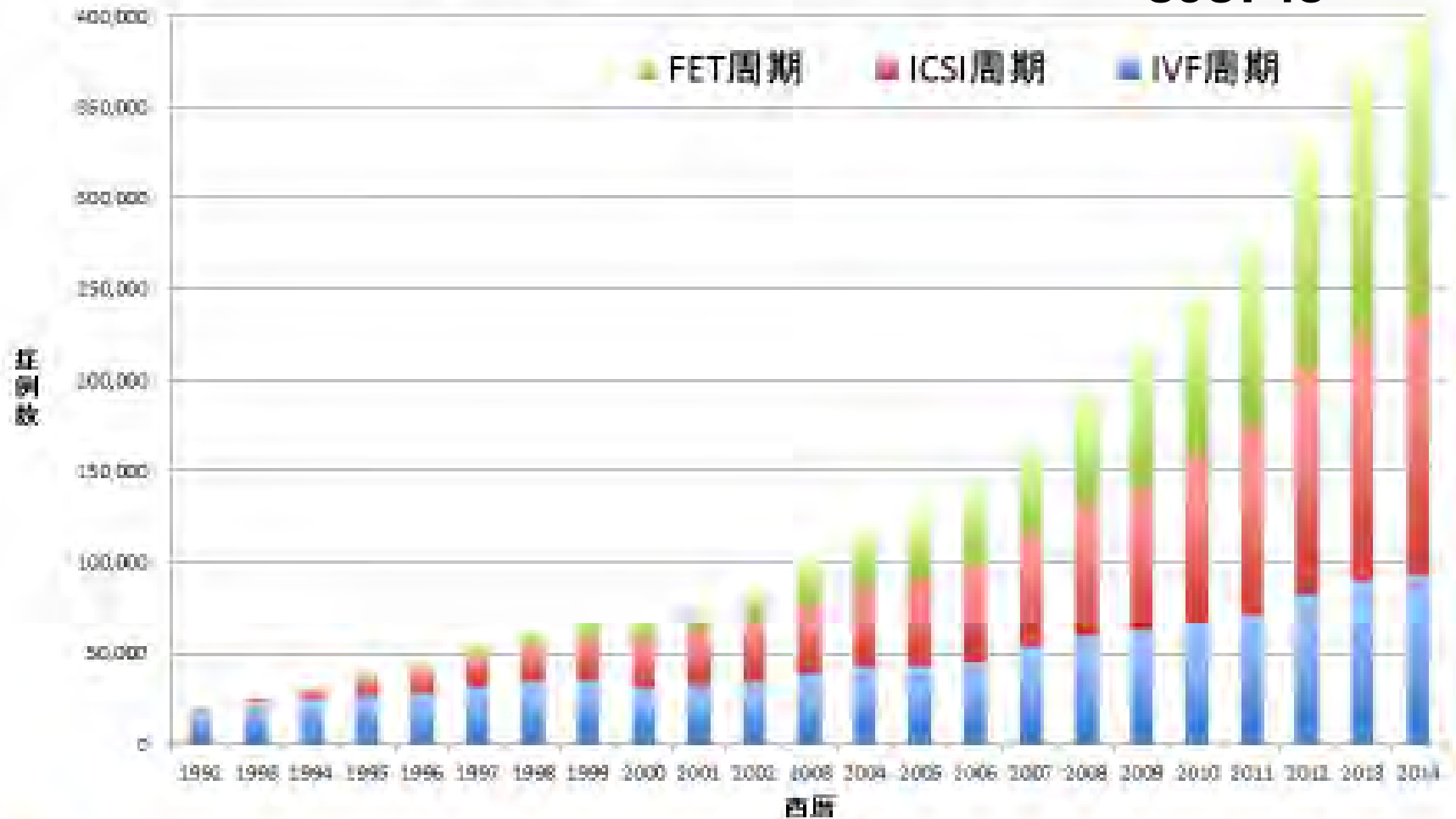


西暦

(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

年別 治療周期数

393745

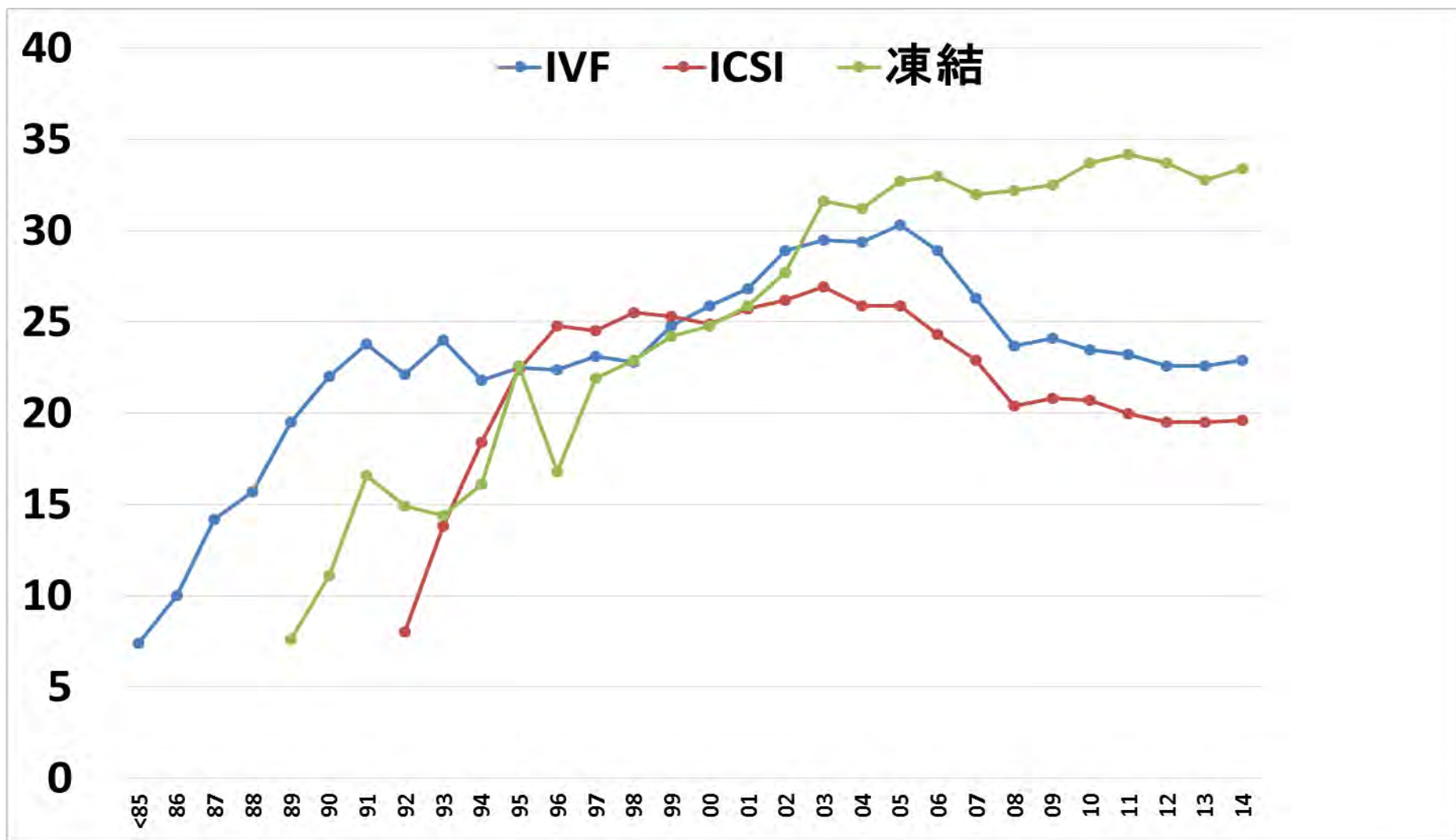


(日本産科婦人科学会ホームページ)

http://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/2014data_201701.pdf

(%)

妊娠率(胚移植)



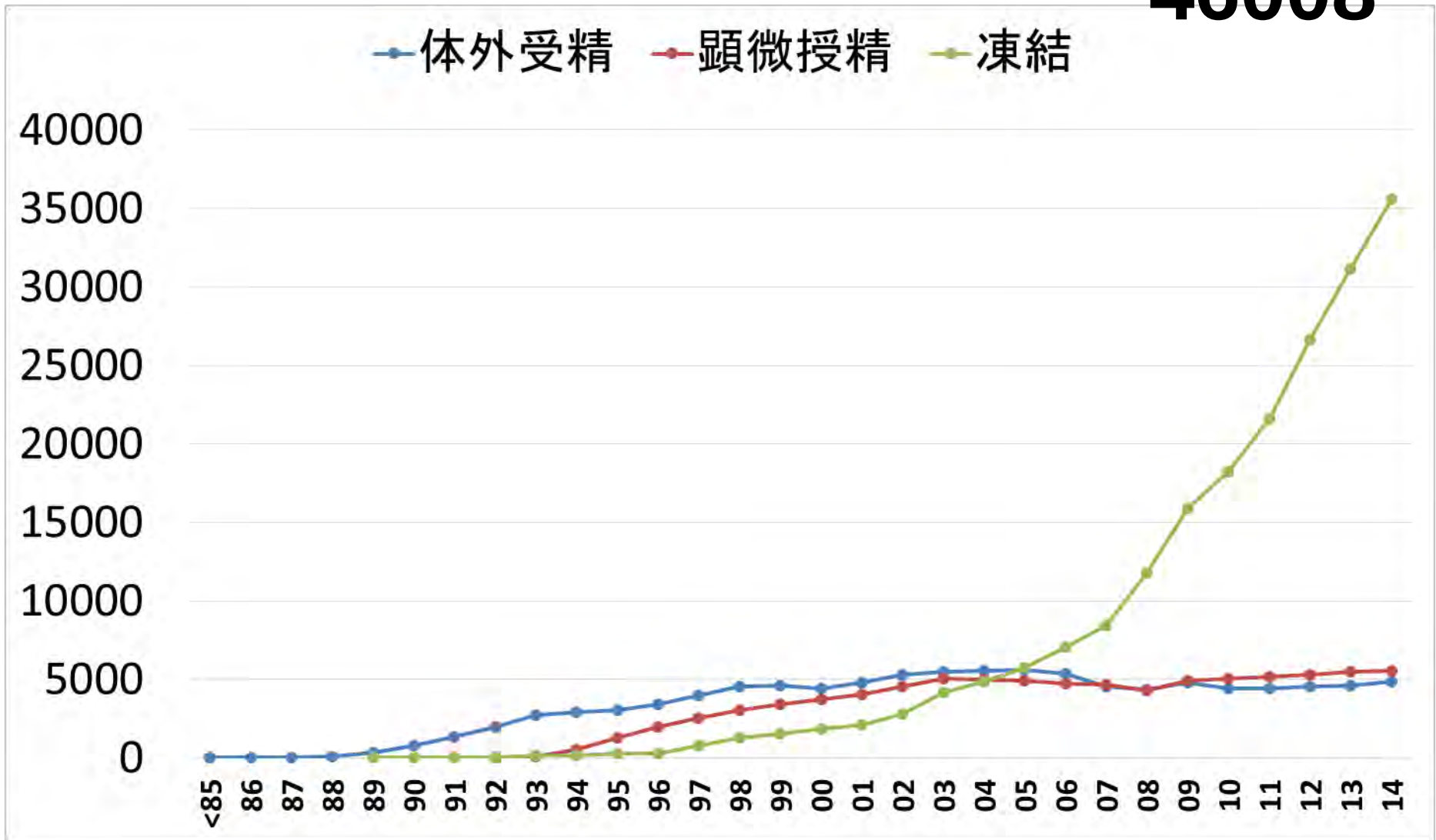
西暦

(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

生産分娩数

46008

体外受精 顕微授精 凍結

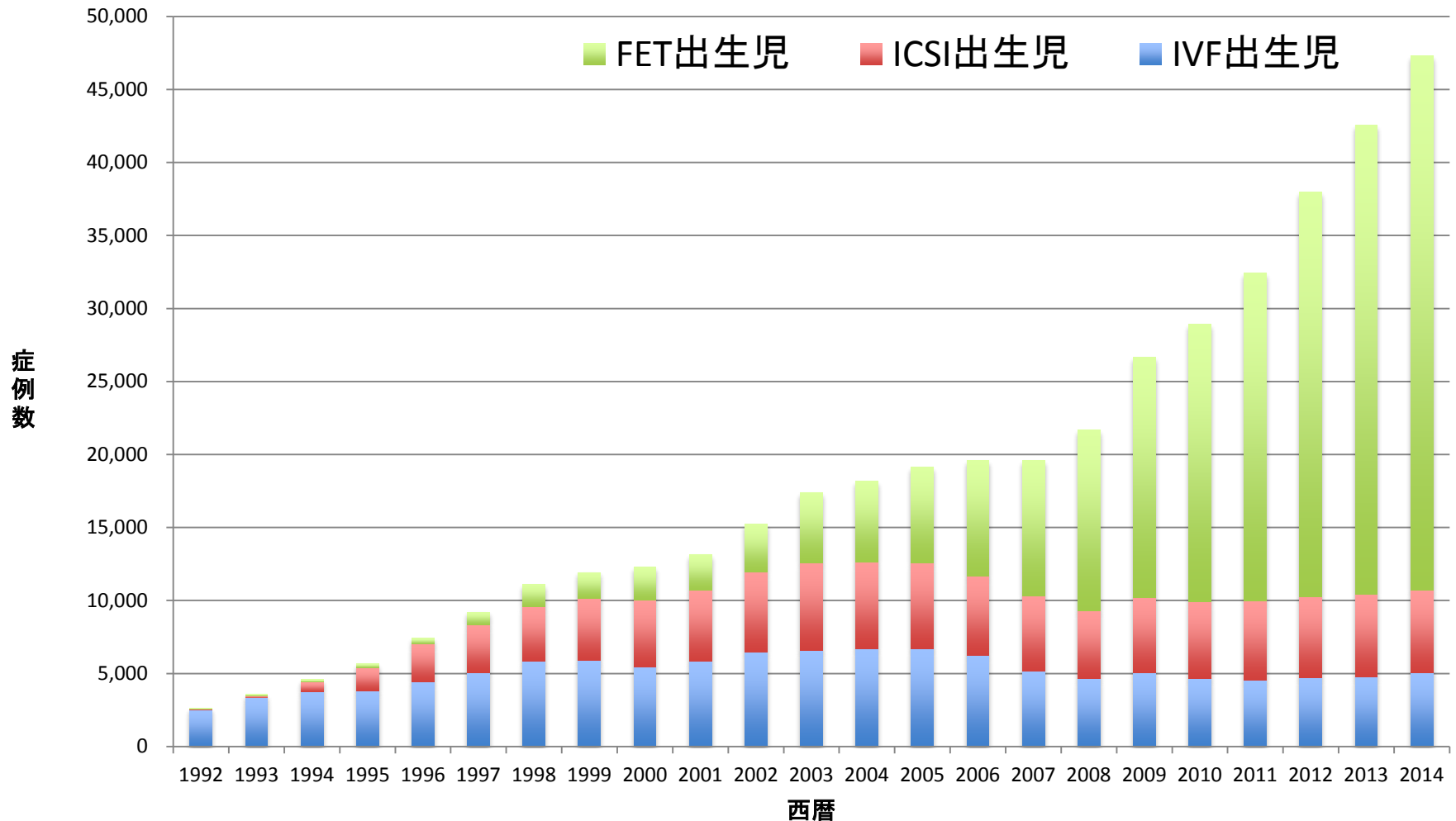


西暦

(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

年別 出生児数

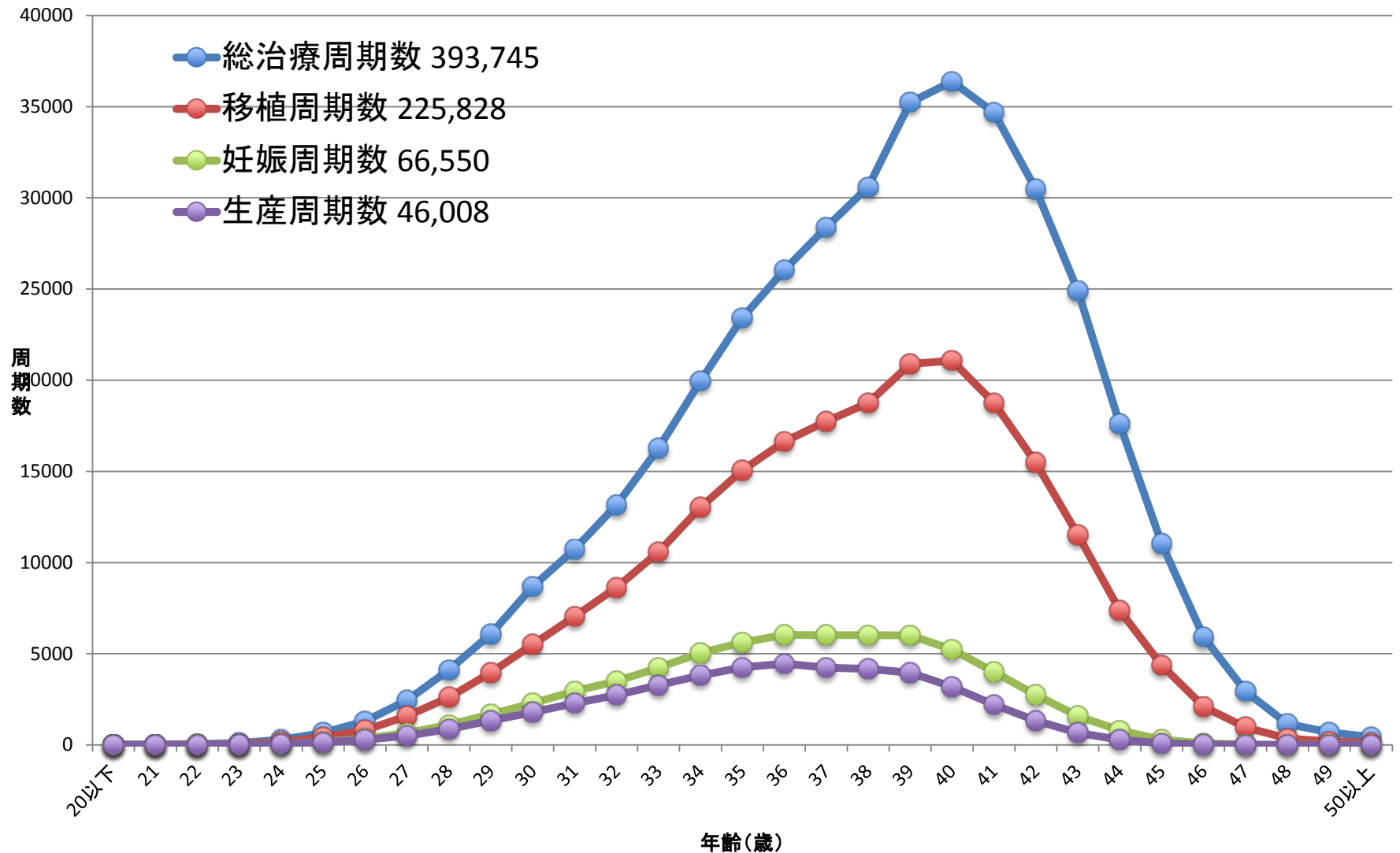
47322



(日本産科婦人科学会ホームページ)

http://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/2014data_201701.pdf

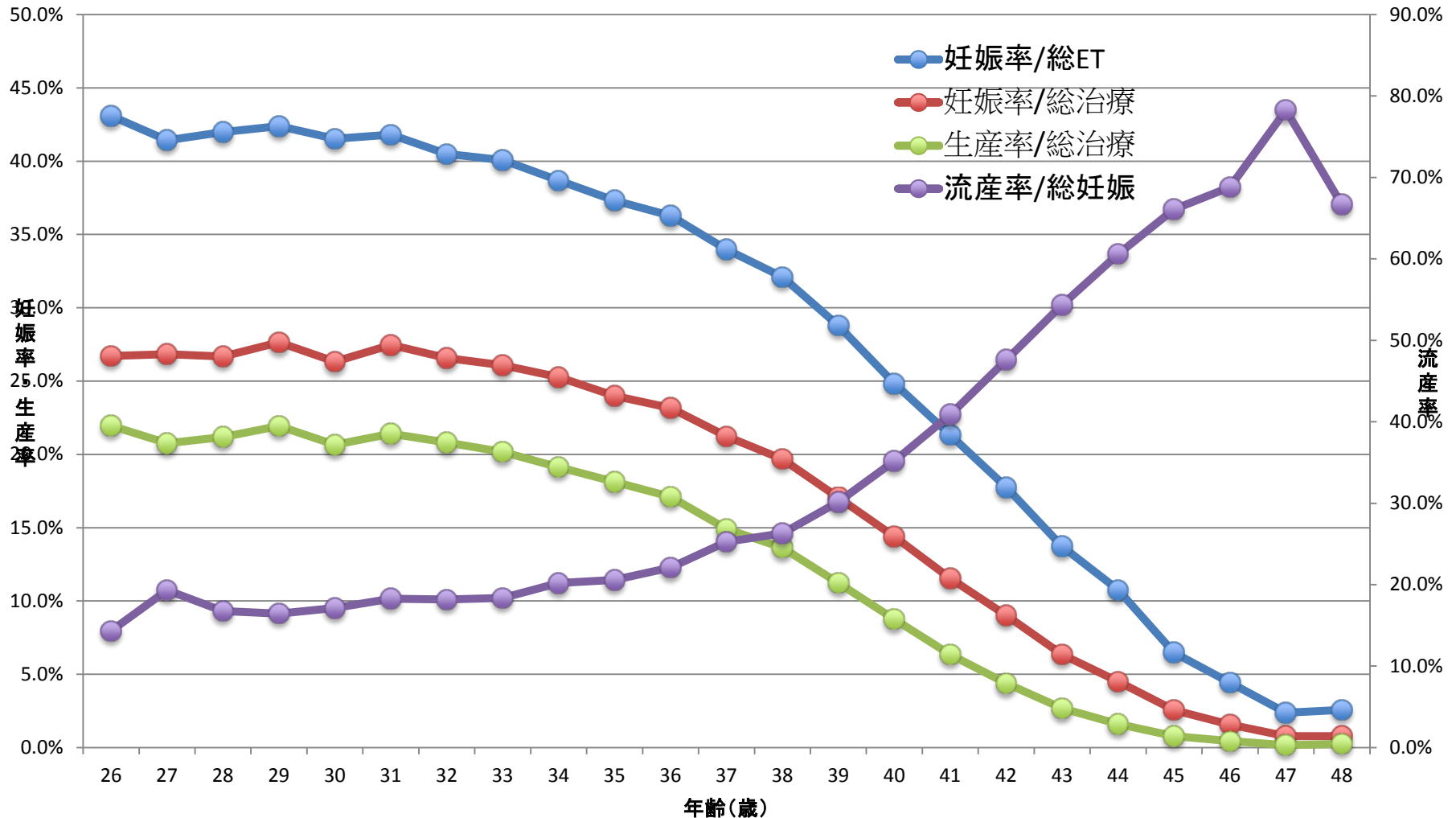
ART治療周期数 2014



(日本産科婦人科学会ホームページ)

http://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/2014data_201701.pdf

ART妊娠率・生産率・流産率 2014



(日本産科婦人科学会ホームページ)

http://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/2014data_201701.pdf

総治療数 生殖補助医療治療数

07年 161164

08年 190613

09年 213800

10年 242161

11年 269659

12年 326426

13年 368764

14年 393745

40歳以上率

07年 31.2%

08年 32.1%

09年 33.4%

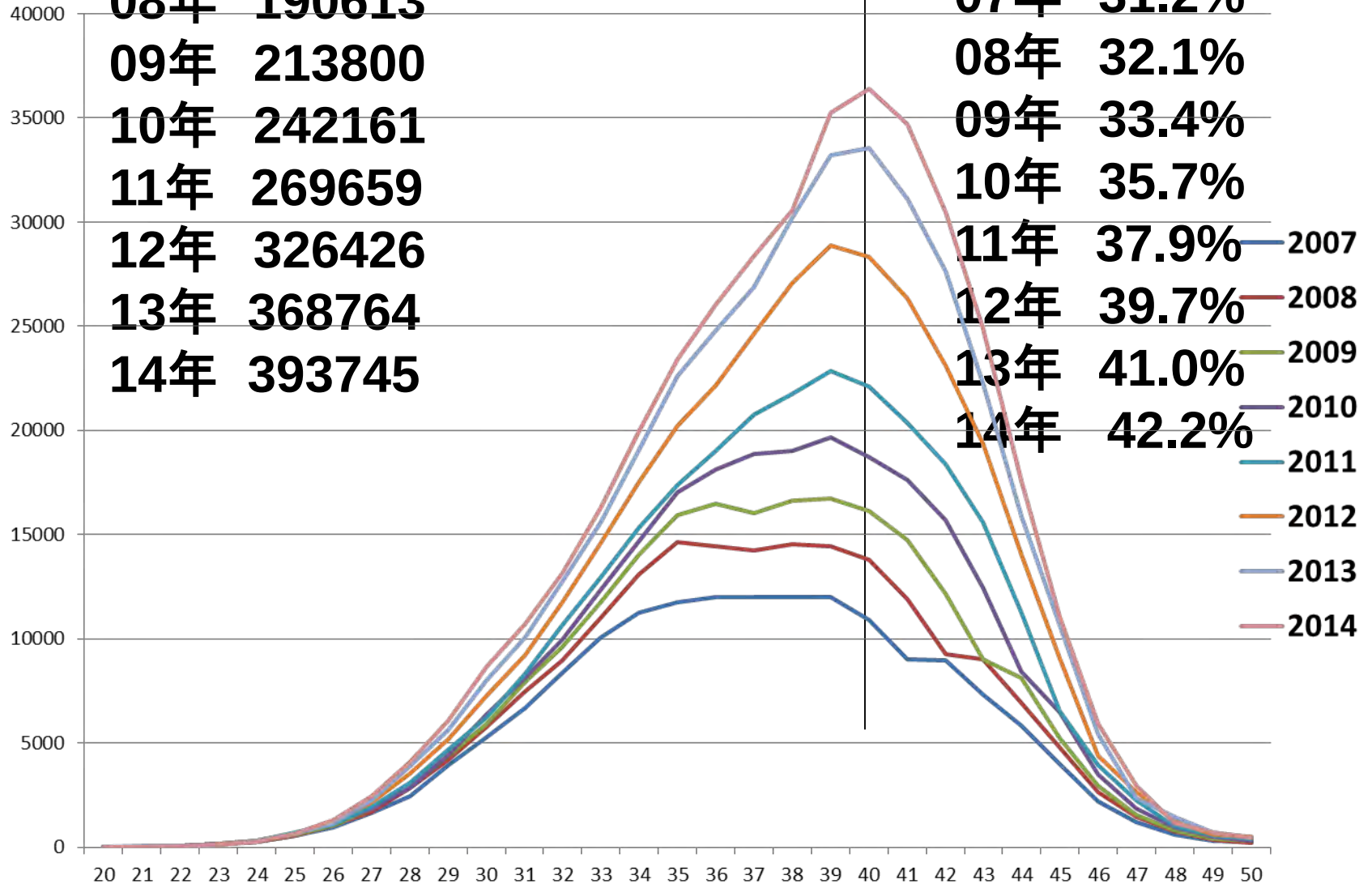
10年 35.7%

11年 37.9%

12年 39.7%

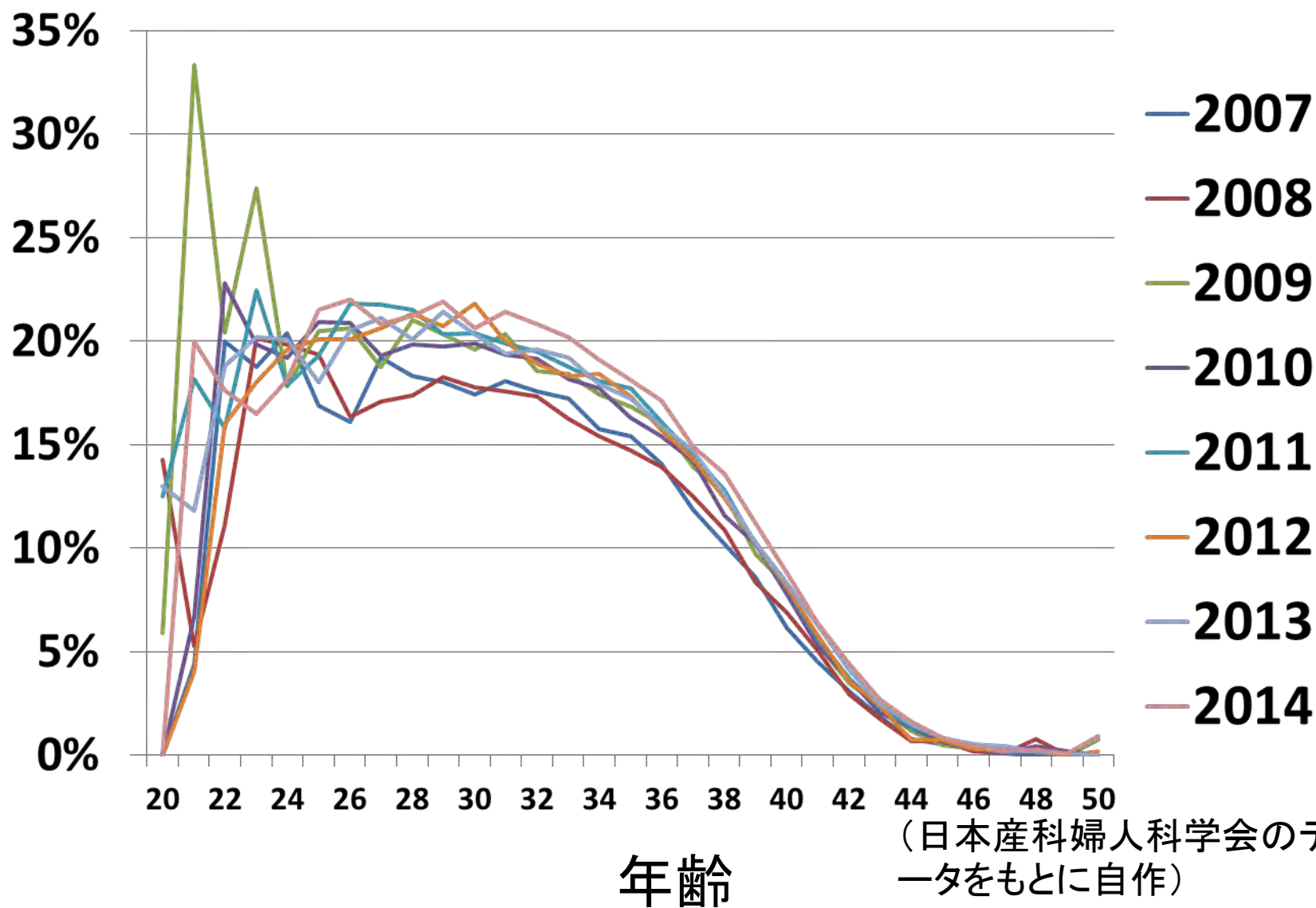
13年 41.0%

14年 42.2%



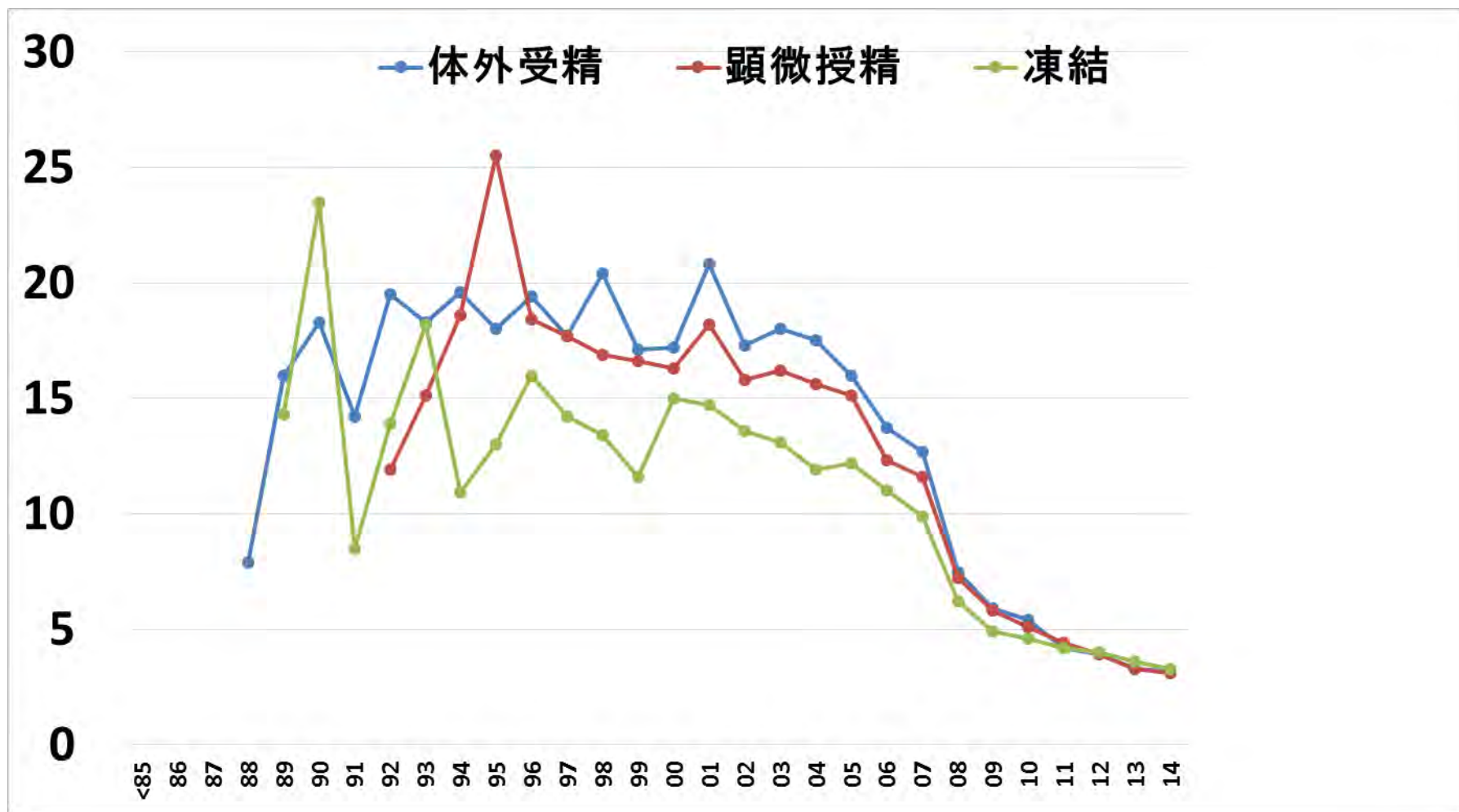
(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

年次別治療開始周期あたりの生産率



(%)

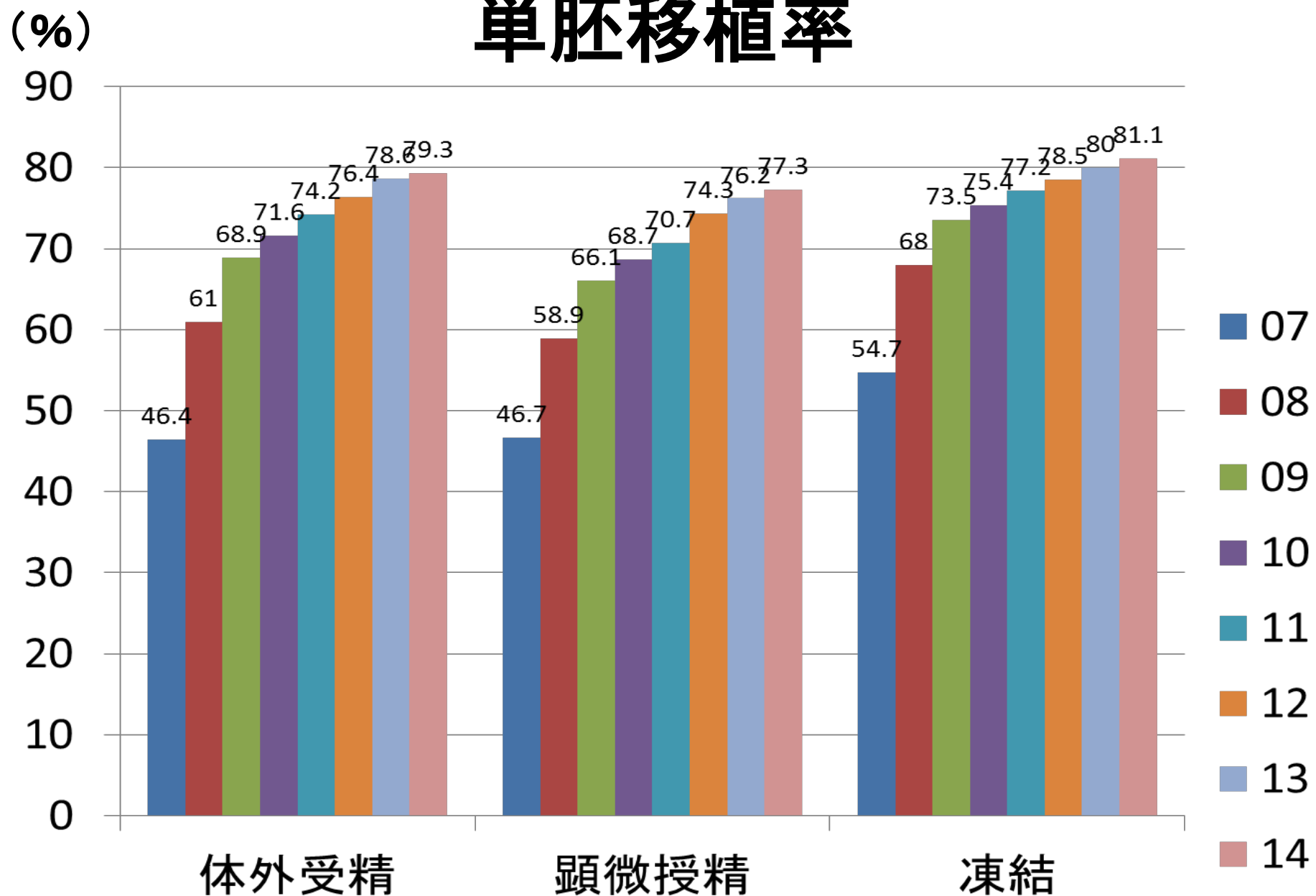
ART多胎妊娠率



西暦

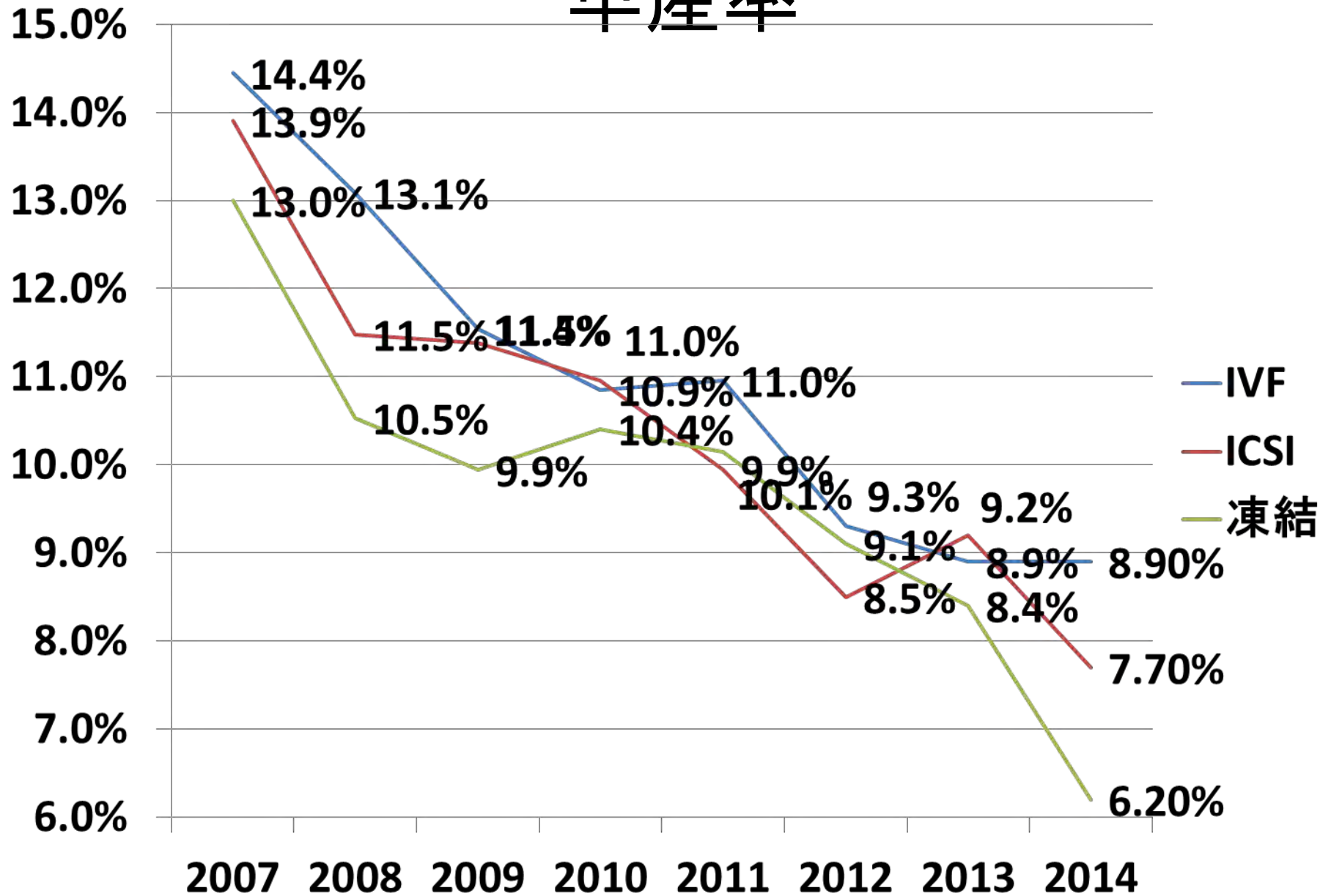
(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

単胚移植率



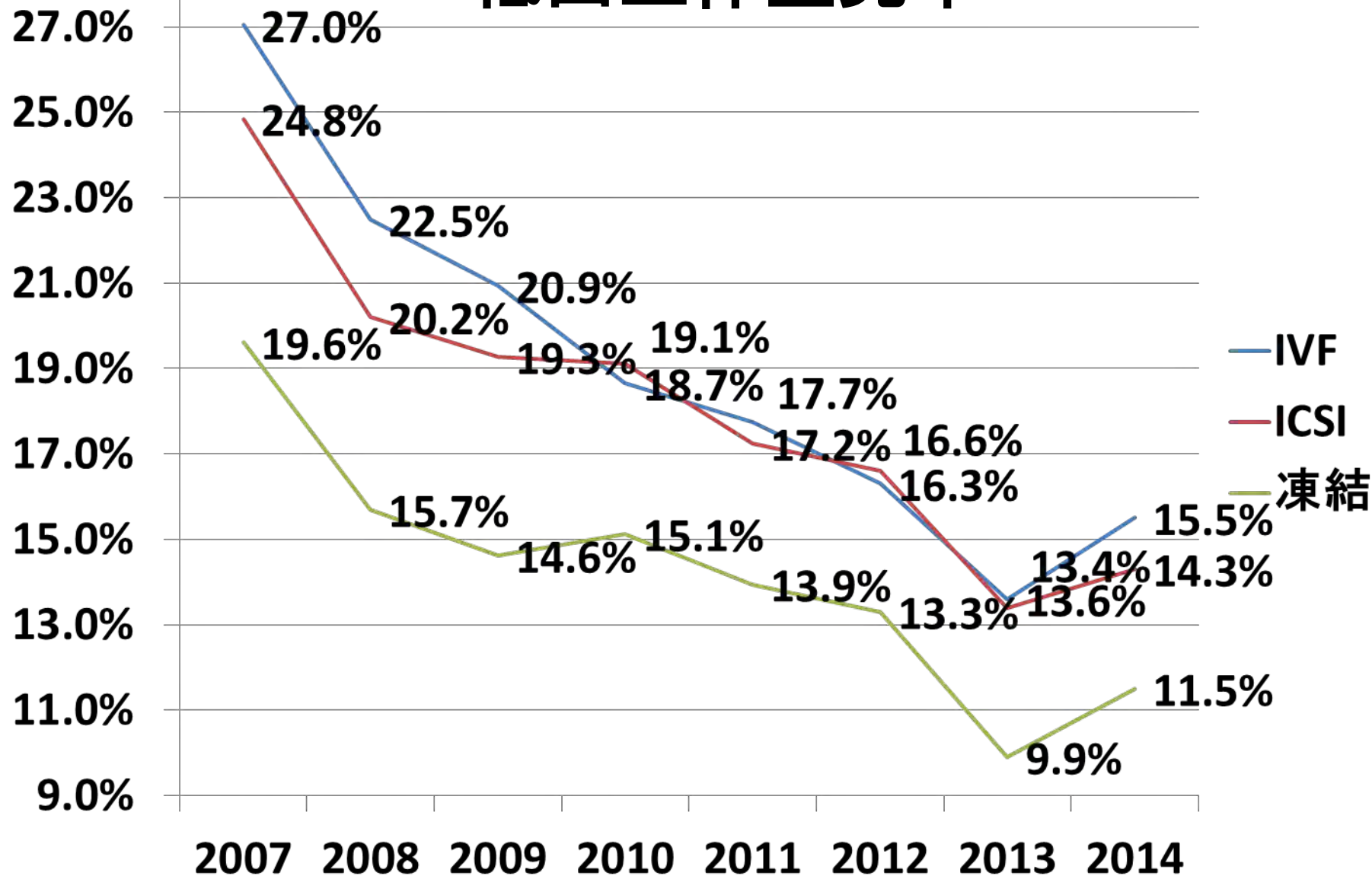
凍結
(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

早産率



(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

低出生体重児率



(日本産科婦人科学会のデータをもとに自作)

まとめ

不妊治療に頼らず妊娠し、安全に出産できることが一番の願いですが、生殖医療に頼ることになっても、母児ともに、健康に妊娠・出産できることが大切なことです。

生殖補助医療ではより安全な妊娠・出産のために、胚移植数の制限を行ってきましたが、さらに治療法の改良を重ねていきたいと考えています。